

【国・都・市の施策】 現行学習指導要領（H29 告示） 教育振興基本計画第4期（R5.6） 東京都教育施策大綱（R7.3） 第4次八王子市教育振興基本計画

【八王子市教育委員会重点施策】 これからの社会を生き抜く力を育む教育の推進～持続可能な社会の創り手の育成～

【学校教育目標】 ◎すすんで学び合う子ども ○思いやりのある子ども ○たくましく生きる子ども



【目指す学校像】 「すべての子どもが安心して力を発揮し、幸福度を高める学校」

【確かな学力の育成（知）】 数値：保評 85%

- 「主体的・対話的で深い学び」の授業実践
 - ・校内研究 ・年60回以上の校内公開授業
- 自己調整能力の育成
 - ・やまタイムの活用 ・一人一台学習用端末利活用充実
 - ・家庭学習の手引き作成、活用
- 問題解決能力の育成
 - ・総合的な学習の時間の充実
 - ・理数教育の充実

【豊かな心の育成（徳）】 数値：保評 85%

- 特別活動を核としたキャリア教育の充実
 - ・キャリアパスポートの効果的な活用
 - ・係活動、当番活動、委員会活動の充実
 - ・学級活動、異学年交流、クラブ活動、学校行事の充実
- 道徳教育の充実
 - ・自分事として捉えられる道徳授業の実践
- インクルーシブ教育の充実
 - ・特別支援教室巡回指導教員による理解教育
 - ・校長講話と学級活動による多様性理解教育

【健やかな心身の育成（体）】 数値：保評 85%

- 自己指導能力の育成
 - ・年3回以上の校内教員研修の実施
 - ・校長講話と学級活動によるキャリア教育の推進
- 運動特性を大切にしたい体育学習の推進
 - ・機能的特性を大切にしたい体育授業の充実
 - ・トップアスリート、専門家による体育出張授業（3年以上）
- 保健指導、食育指導の充実
 - ・養護教諭による保健指導の拡充
 - ・給食一口メモを活用した継続的食育指導

【（知徳体を支える）教職員組織の機能強化】 数値：保評 80%

- 一部教科担任授業・交換授業全学年実施
- 特別支援教育の充実
- いじめ対応未然防止、早期発見・早期解決に向けた組織対応
- 子どもに還元されることを目的とした働き方改革の推進
- 教員自身の職層やキャリアプランに応じた研修の実施
- 意図的、計画的な校内OJTの実践
- 学校規模に応じた教員組織編成や時間割編成等の取組による働き方の柔軟な見直し

【（知徳体を支える）小中一貫教育の充実】 数値：保評 80%

- 義務教育9年間で切れ目なくつなぐ教育活動の計画、実施（児童生徒が合同で行う活動の取組、学力向上に向けた取組の充実、生活指導等の諸情報の共有、地域と合同で行う活動の実施）
- 中学校区の特色（防災教育）を踏まえた実践的なキャリア教育の充実
- 横山中学校グループ（横山中・散田小・横山第二小）との連携

【（知徳体を支える）保護者・地域との協働・連携】 数値：保評 90%

- 学校コーディネーター、学校運営協議会との協働による地域連携、地域資源活用（保護者のボランティア活動参画等）
- 教育活動目的発信型の情報発信の充実（児童登校日全日の学校HP投稿発信）
- 保・幼・小連携の充実（架け橋期のカリキュラム、スタートカリキュラムの充実）
- 保護者との密な情報共有の実施（Home & Schoolの機能活用等）
- 青少年活動等への参画

【（知徳体を支える）目指す教師像】

- 子どもに寄り添い、子どもとともに課題を解決する人間性豊かな教師
- 教育に対する熱意と使命感をもち、絶えず学び続ける教師
- 全体の奉仕者・組織人であることを深く自覚するとともに、職層に応じた職責を捉え、責任感と協調性を大切にして、組織的に職務を遂行する教師

令和8年度 八王子市立山田小学校 学校経営計画

I 学校経営の基本理念

法令、学習指導要領、設置者である八王子市教育委員会の基本方針に基づき、不易・流行の教育課題を捉えて教育課程を編成し、子どもの心理的安全性を最優先とした、しなやかな学校経営を組織的に推進する。

【八王子市教育委員会の重点施策】

「これからの社会を生き抜く力を育む教育の推進～持続可能な社会の創り手の育成～」

- 学習内容のさらなる充実と確実な定着、資質能力の育成に向けた指導
 - ・授業の質のさらなる向上
 - ・義務教育修了段階における学力保障
- 誰一人取り残さず見守り、育成するための子ども一人ひとりに応じた指導
 - ・不登校児童・生徒への適切な対応
 - ・いじめ防止及び早期発見、解消に向けた取組
 - ・一人ひとりの教育的ニーズに応じ、多様性を認め合うインクルーシブな教育の推進
- 義務教育9年間を見通した切れ目のない指導の充実
 - ・義務教育9年間の発達、成長を見通し、切れ目なくつなぐ教育活動の計画・実施
 - ・地域の子どもは地域で育てる教育
 - ・部活動改革の推進
- 「実社会と接続する学びを通して『自分ごと』になる社会的な自立」を促すキャリア教育

1 目指す学校像

教育活動の目的を先行発信することで保護者や地域との連携を図りながら、学校内外の教育力を効果的に発揮し、子どもにとっての教育的価値を中心に据えた質の高い教育活動を組織的に展開し、『すべての子どもが安心して力を発揮し、幸福度を高める学校』を目指す。

2 目指す児童像《学校教育目標》

令和8年度は「すすんで学び合う子ども」を重点目標とし、特に児童の主体性を育む。

- ◎ すすんで学び合う子ども ～学ぶことの楽しさや喜びを知り、主体的に学ぶ子ども～
- 思いやりのある子ども ～自分も仲間も大切にできる子ども～
- たくましく生きる子ども ～心身ともに健康で、自身の言動を自己決定できる子ども～

3 目指す教師像

- 子どもに寄り添い、子どもとともに課題を解決する人間性豊かな教師
- 全体の奉仕者・組織人であることを深く自覚するとともに、職層に応じた職責を捉え、責任感と協調性を大切にして、組織的に職務を遂行する教師
- 教育に対する熱意と使命感をもち、絶えず学び続ける教師

II 中期的目標と方策

1 確かな学力の育成【令和8年度重点目標】

《目標》

学ぶことの楽しさや喜びを知り、主体的に学ぶ子どもを育成する。

《方策》

- (1) 「主体的・対話的で深い学び」の授業実践の充実、自己調整能力の育成を通じた、基礎的・基本的な学習内容の定着に向けた校内研究の推進
- (2) 総合的な学習の時間と理数教育を核とした問題（課題）解決能力の育成
- (3) 「情報活用能力系統表」に基づく取組

2 豊かな心の育成

《目標》

自分も仲間も大切にできる子どもを育成する。

《方策》

- (1) 特別活動を核としたキャリア教育の充実
- (2) 道徳教育の充実
- (3) インクルーシブ教育の充実

3 健やかな心身の育成

《目標》

心身ともに健康で、自身の言動を自己決定できる子どもを育成する。

《方策》

- (1) 自己指導能力の育成
- (2) 運動特性を大切にした体育学習の推進
- (3) 保健指導、食育指導の充実

4 （知徳体を支える）教職員組織の機能強化

《目標》

職層に応じた責任と役割を踏まえながら、教職員個々の特長を子どもたちに組織的に還元ができるようにする。

《方策》

- (1) 一部教科担任授業・交換授業
- (2) 特別支援教育の充実
- (3) いじめ対応未然防止、早期発見・早期解決に向けた組織対応
- (4) 子どもに還元されることを目的とした働き方改革の推進
- (5) 教員自身の職層やキャリアプランに応じた研修の実施
- (6) 意図的、計画的な校内 OJT の実践
- (7) 学校規模に応じた教員組織編成や時間割編成等の取組による働き方の柔軟な見直し

5 （知徳体を支える）小中一貫教育の充実（第七中学校グループ）

《目標》

第七中学校グループ4校で義務教育終了時の生徒像を共有するとともに、合同・一体型の活動を充実させることを通して、自立した児童生徒を育成する。

《方策》

- (1) 義務教育9年間で切れ目なくつなぐ教育活動の計画・実施
- (2) 中学校区の特徴（防災教育）を踏まえた実践的なキャリア教育の充実

6 (知徳体を支える) 保護者・地域との協働・連携

《目標》

保護者・地域と同じ方向を見て教育活動にあたり、教育効果を高める。

《方策》

- (1) 学校コーディネーター、学校運営協議会との協働による地域連携、地域資源活用
- (2) 教育活動目的発信型の情報発信の充実
- (3) 保・幼・小連携の充実
- (4) 保護者との密な情報共有の実施
- (5) 青少対活動等への参画

III 令和8年度 of 取組目標と方策

学校経営の基本理念及び中期的な目標と方策を踏まえ、令和8年度の重点目標・方策を以下の通り設定し、後期学校評価の結果にて取組効果の検証を行う。

凡例 自己…自己評価 保…保護者アンケート 児…児童アンケート それぞれ肯定的評価

1 確かな学力の育成【令和8年度重点目標】

後期学校評価数値目標		後期学校評価結果
「分かりやすい授業」自己・保・児各85%		
目標	方策	重点目標・方策
学ぶことの楽しさや喜びを知り、主体的に学ぶ子どもを育成する。	基礎的・基本的な学習内容の定着に向けた校内研究の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全教員による、自らの授業力向上の課題を捉えた年3回以上の公開授業の実践 ○ 日常的なグループ研究と情報交換の実践 ○ 短い時間を活用した算数指導並びに一人一台の学習用端末の日常的な活用を核とした自己調整能力の育成 ○ 家庭学習の内容を自律的に決められるような段階的な指導の実践(家庭学習はじめ学習習慣の確立を含む)
	総合的な学習の時間と理数教育を核とした問題(課題)解決能力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○ 理科推進教諭、総合的な学習の時間推進教諭の任命 ○ 理数教育の校内還元研修の実施
	「情報活用能力系統表」に基づく取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一人一台の学習用端末の段階的な活用

2 豊かな心の育成

後期学校評価数値目標		後期学校評価結果
「自他を認める」自己・保・児各90%		
「人の役に立つ」保・児各85%		
目標	方策	重点目標・方策
自分も仲間も大切にできる子どもを育成する。	特別活動を核としたキャリア教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ キャリアパスポートの効果的な活用(自己理解・目標設定) ○ 係活動・当番活動、委員会活動の充実(社会参画意識) ○ 学級活動(1)、異学年交流、クラブ活動、学校行事の充実(人間関係形成)
	道徳教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「考え、議論する道徳」を通じた自分事として捉えられる道徳授業の実践 ○ 教育活動全体を通じた道徳的実践力の育成
	インクルーシブ教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特別支援教室巡回指導教員による通常の学級における理解教育 ○ 校長講話と学級活動(2)による多様性理解教育

3 たくましく生きるための心と体の育成

後期学校評価数値目標				後期学校評価結果	
「体力の向上」自己 80% 保 85%					
目標	方策		重点目標・方策		
心身ともに健康で、自身の言動を自己決定できる子どもを育成する。	自己指導能力の育成		<ul style="list-style-type: none"> ○ 年3回以上の校内教員研修の実施 ○ 校長講話と学級活動（3）によるキャリア教育 		
	運動特性を大切にしたい体育学習の推進		<ul style="list-style-type: none"> ○ 体育授業の充実 ○ トップアスリート・専門家による体育出張授業 		
	保健指導、食育指導の充実		<ul style="list-style-type: none"> ○ 養護教諭による保健指導の拡充 ○ 給食一口メモを活用した継続的食育指導 ○ 体育科保健領域の指導の充実 		

4 （知徳体を支える）教職員組織の機能強化

後期学校評価数値目標				後期学校評価結果	
「組織的學校経営」自己・保・見各 80%					
目標	方策		重点目標・方策		
職層に応じた責任と役割を踏まえながら、教職員個々の特長を子どもたちに組織的に還元ができるようにする。	一部教科担任授業・交換授業		<ul style="list-style-type: none"> ○ 5・6年一部教科担任授業通年実施 ○ 1～4年一部教科担任授業または交換授業の2学期以降実施（1学期からも可） 		
	特別支援教育の充実		<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習・生活環境のUD化 ○ 年35回以上の校内委員会開催 ○ 学校サポーター、学年補佐、学習支援ボランティアの活用等による個に応じた支援 ○ 校内別室指導体制の柔軟な運用 ○ 外部組織（SSW、放課後等デイサービス、フリースクールなど）との連携強化 		
	いじめ対応未然防止、早期発見・早期解決に向けた組織対応		<ul style="list-style-type: none"> ○ 年35回以上のいじめ防止対策会議（いじめ対応の時間）の実施 ○ 年3回以上のふれあいアンケートの実施（相談できる大人の確保） ○ 法令上及び社会通念上のいじめの定義の深い理解に基づいた積極的な生徒指導 ○ SOSの出し方授業、命の大切さを共に考える日の実践の充実 ○ 校長講話と学級活動（2）によるメディアリテラシー教育、いじめ未然防止教育 		
	子どもに還元されることを目的とした働き方改革の推進		<ul style="list-style-type: none"> ○ コロナ禍で削減された教育活動の適切な復元 ○ 教職員の会議やOJTの長期休業期間の有効活用 ○ 校内教員研修の実施 		
	教員自身の職層やキャリアプランに応じた研修の実施		<ul style="list-style-type: none"> ○ 校外における研修への全教員参画（定例小教研以外） 		
	意図的、計画的な校内OJTの実践		<ul style="list-style-type: none"> ○ 主任教諭以上による校外における研修成果の校内還元研修 ○ 年間行事と連携したOJT実施計画の作成と運用 		
	学校規模に応じた教員組織編成や時間割編成等の取組による働き方の柔軟な見直し		<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校経営支援組織と教務学校事務の連携 ○ 全学年副担任制の導入 ○ 時間割編成の見直しと新たな校務軽減時間講師の活用による授業時数の平均化 		

5 (知徳体を支える) 小中一貫教育の充実 (第七中学校グループ)

後期学校評価数値目標		後期学校評価結果
「小中一貫教育」自己・児各70% 保80%		
目標	方策	重点目標・方策
第七中学校グループ4校で義務教育終了時の生徒像を共有するとともに、合同・一体型の活動を充実させることを通して、自立した児童生徒を育成する。	義務教育9年間で切れ目なくつなぐ教育活動の計画・実施	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童生徒が合同で行う活動 (部活動見学 など) ○ 学力向上に向けた取組 (はちおうじっ子ミニマム、学力調査の分析 など) ○ 生活指導等の諸情報の共有 (メディアリテラシー教育 など) ○ 地域と合同で行う活動の実施 (あいさつ運動、環境整備活動 など)
	中学校区の特色 (防災教育) を踏まえた実践的なキャリア教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全学年にキャリア教育としての防災教育を位置付け
	☆校区の特性上、横山中学校グループ (横山中・散田小・横山第二小) との連携重視	<ul style="list-style-type: none"> ○ 横山地区 青少対活動への参画を通じた小小、小中交流 ○ 散田小学校、横山第二小学校児童との学校間小小交流の実践

6 (知徳体を支える) 保護者・地域との協働・連携

数値目標		後期学校評価結果
「連携した活動」自己・保各85% 「情報発信」自己・保各90%		
目標	方策	重点目標・方策
	学校コーディネーター、学校運営協議会との協働による地域連携、地域資源活用	<ul style="list-style-type: none"> ○ 放課後子ども教室、サタデースクールの充実 ○ 地域環境等資源、地域人材を活用した体験的な学習や郷土学習の推進 ○ 保護者のボランティア活動参画
	教育活動目的発信型の情報発信の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童登校日全日の学校 HP 投稿発信 ○ 学校だより、学級だよりの充実
	保・幼・小連携の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○ 架け橋期のカリキュラムの充実 ○ スタートカリキュラムの柔軟な見直し ○ 幼児・児童間交流の充実
	保護者との密な情報共有の実施	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子ども見守りシート、すくてくシート、連携型個別指導計画の活用 ○ Home & School の機能活用 ・ 欠席連絡、個別連絡機能の活用 ・ HP との連動
	青少対活動等への参画	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第七地区・横山地区標語コンクール、八王子おやこ川柳への参画 ○ クリーン活動等への参加